



令和二年度全国社会福祉協議会 会長表彰受賞御報告

桜谷社会福祉協議会会長 西野 至 通

本桜谷社会福祉協議会は、平成二十一年度に富山市社会福祉協議会のご指導を得て、「福祉推進員制度」を導入し、「一人暮らし高齢者」に対する安否確認など、ケアネット活動（向う三軒両隣のような絆の活動）に取組んできました。

このたび、富山市社会福祉協議会のご推薦により、県下にある地区社協一六六団体の中で唯一、標記表彰を受賞する栄誉を頂きました。授賞理由として、「社会福祉に関する活動が特に優秀であり、他の模範とするものである」と評価されています。

この受賞は、前例のない中、色々な行事を企画・開催し、また、一人暮らし高齢者宅への定期的な訪問など、本社会福祉協議会の主要メンバーである福祉推進員の皆様の地道なボランティア活動の賜物でありま

す。ここに改めて、福祉推進員の皆様に深く感謝申し上げます。



令和2年度の主な活動

待望の“命のボタン事業”を開始

1人暮らしの高齢者宅に『命のボタン』の配布という、本社会福祉協議会として、大きな事業に取り組んでいます。

緊急時、救急隊員などに必要な医療情報などを知らせるために、その情報を冷蔵庫で保管する取り組みが『命のボタン』事業です。

健康面への不安を抱えながら在宅生活を送られる方に、『命のボタン』を通しての安心感の確保を目指します。

今後は桜谷地区内の希望者にも配布できるよう取り組んでいく予定です。

緊急連絡カード

01 救急連絡カードに自分のことを記入します。（名前、緊急連絡先、持病・服薬情報、かかりつけ医など）



02 救急連絡カードを丸めてボタン（容器）の中に入れます。お薬の説明書など緊急時に役立つと思われるものも入れましょう。

03 「命のボタン」を冷蔵庫に入れます。ドアのポケットに入れると分かりやすいです。



04 冷蔵庫のドアと玄関の内側にシールを1枚ずつ貼ります。「命のボタン」があることの見印です。



ふれあい訪問

1人暮らしの高齢者宅へ、毎月、安否確認を兼ね、楽しい会話を交わしに訪問しています。

コロナ禍で、例年実施しているお食事会や講演会が開催できない中、訪問時に暮らしに役立つ情報チラシや、8月にはお茶菓子、12月には、マスクをお持ちしました。



和菓子



不織布マスク



富山市消防局中分署、番場氏、中川氏

福祉推進員研修会

令和2年11月28日(土) 於：桜谷公民館

テーマ 高齢者の救急搬送の現状と命のバトン

富山市消防局の救急隊員の方を講師としてお迎えし、心筋梗塞、脳卒中、高齢者の窒息など様々な心停止の原因、初期症状、その予防について学びました。

救急車を要請した場合、「場所を正確に伝え」、「普段と異なる症状を伝える」、「迷ったときは、とにかく、119番通報する」などの要望・注意点をお聞きしました。

また、「命のバトン」の設置により、救命措置をスムーズに進めることができるとのことでした。



福祉推進員会議

地区内8町の福祉推進員の情報交換・事務連絡のため、月1度の定例会議が開かれています。

令和2年7月25日(土)の会議では、百塚地域包括支援センターのケアマネージャーをお招きし、包括支援センターの役割、活動についてご説明いただきました。(今年度はコロナ感染拡大防止のため、4～6月の会議は中止になりました。)

まちの話題

「こども食堂さくら」 五艘 鹿渡 英光さん

ご自宅(富山大学附属小学校裏)を開放され、行政からの助成金を受けずに、趣旨に賛同した7人のメンバーの協力を得て、こども食堂を運営しておられます。(毎月第3日曜日)

子どもたちは、調理師免許をお持ちの舟田照美さんを中心に作られた、季節感のある手作りランチをいただき、食後には、ボランティアによるピアノ演奏、紙芝居、バルーンづくりなどのアトラクションも楽しんでいきます。

「子どもたちの笑顔で英気をもらっており、1人でも多くの参加を心待ちにしている」とのことです。

連絡先 富山市五艘 1210-1 090-9448-9321



美味しく食べてるかな?



楽しい紙芝居